

よいまちのひとたちに支えられて

明るく前向きに生きる

長濱 忠治

私たちがいま住んでいるK区は、日頃「水と緑の豊かな心ふれあうよいまち」を目指し  
実現に全力で取り組んでいます。

下町のぬくもりをいまに残す「寅さん」のいるまち、財産は「人情」と言えるでし  
う。

こゝに転入後四年半が経ちましたが、私たちが毎日元気で自立生活が維持できますこと  
は、この地域の皆さんの暖かくやさしい心と親切のおかげです。平素福祉や医療の面で高  
令者の私たちをしっかりと見守り家族をこえる「地域のきずな」とも云える積極的な協力  
と支援があるからです。

以下少し私たちの体験の一部を紹介させていただきます。

・心のやさしい親切な介護福祉士さんたち

九月近くの地区センターで「地区まつり」が催され木工づくりや社交ダンス、障害者の手づくりのケーキの販売等の他各種の相談コーナーも設けられ多ぜいのひとたちで賑わいました。医療、福祉コーナーで足を止めた私は早速入口の「体脂肪検査」を受けたあと福祉相談員の方にお会いしました。始めに二年前区の高令者サービスのひとつとして手摺りを取り付けていただきましたのでそのお礼を述べましたところ偶然この方が家に訪問され、相談や手続き等いろいろ世話してくださった地域包括支援センターの保健婦のSさんでした。

「その節は大へんお世話になりました。」

「よかったですネ、私も嬉しいです。」

「もう一人の若い介護福祉士さんはお元気ですか。」

「ハイ、元気で活躍していますヨ！」

この心のやさしい親切な方たちとの出会いは次のようでした。

区では介護認定で非該当となってもひとり二十万円以下（本人は一割負担）のサービス

が受けられることになっています。過去に倒れた病歴のある私は幸い処置が早かったため無事に回復しましたが、再発することが少なくないと聞いていましたので万が一のことを心配し手摺りの取付けを申請しました。

早速前述のお二人が家にお見えになり問診チェックされましたが、リストでは点数不足でOKになりませんでした。しかし私は疾病が突発性であり、万が一再発してからでは遅い旨を強調しお願いしましたところ、一先づ持ち帰って検討していただくことになりました。

その後区の関係部署と検討の結果取付けが承認され、直ちに廊下、浴室、トイレに手摺りが取付けられました。承認から取付けまで何んと一週間のスピーディな対応に頭が下がります。今も日々感謝し利用しています。

関係者のこのような暖かい心の親切な対応、家族をこえる「地域のきずな」とも言える支援サービスでこのまちに住んでよかったと喜んでいます。

実際毎日の自立生活に役立っており日々老化がすすむ私たちに夫婦に必要な住宅改修です。

・ 連けい病院に人脈があり、実力のある冗談も言えるよいお医者さん

十月末日の昼下がり最寄りにある駅前の「音楽教室」に出かけ、同教室内のフロアでバツタリかゝりつけのお医者さんのM先生と出会いました。

「あつ！先日今日は、…先生に背中を押されレッスンを受けに来ました。」

「それはよかった…。」

丁度この日は先生のピアノのレッスンの日でした。息子さんたちもピアノを習っている音楽一家です。

先生との出会いは、四年半前の転入以降から私たち夫婦が健康や病気の時など何かとお世話になっている関係です。

個人医院の先生ですが、先生が紹介して下さる連けいの病院は、よい病院で信頼ができて、人脈もあり実力のある先生で、最近では音楽談義や冗談も言える愉快な先生です。

また、地域の小・中学校の校医も勤め地元の児童から老人まで巾広く多くのひとたちから信頼されています。

先生にはこんな一面もあります。

・都の医療センターの勤務医も兼ねておられ検査や入院等の際は先生自らが電話で予約、申込みなどスピーディーに手配してください。

・薬はいつも目の前で点検し、説明し直接手渡してください。

・この医院では待ち時間がなく、医療費も比較的安く助かります。

・奥様も看護師で近所で評判のよい気さくな方です。

現在の社会は、少子化及び核家族化が進んでおり、さらに電腦革命の影響等もあり、誰もが家族や地域社会との結びつきが希薄になっています。

そして大人たちはストレスやうつを抱え生活していますので、これらとの上手なつきあいが必要です。

私たちは地域社会のひとたちに支えられながら、自らも楽しむことを前向きに捉えることも大切に心を癒し、くつろぎ、楽しみ充実した日を重ね過ごし生き甲斐、生きている張り合いを感じることが肝要です。

私たちは日々心身ともに健康で幸せに百寿まで明るく前向きに生きたいものです。